

第3回 総括検討会 議事録

1. 開催日時：平成15年12月24日（水）10：00～12：00

2. 開催場所：（社）日本電気協会 4階A，B会議室

3. 出席者：（順不同，敬称略）

- 委員：柴田主査（防災科学技術研究所），久保副主査（東京大学），遠藤幹事（日本原電），白井副幹事（関西電力），石崎（竹中工務店），市橋（原子力安全基盤機構），兼近（鹿島建設），金津（電中研），金谷（関西電力），北田（原子力安全基盤機構），久野（中部電力），武田（清水建設），中川（日立），土方（東京電力），益田（三菱重工業），森山（大成建設）（計16名）
- 代理出席：大須賀（大林組・清水代理），米田（東芝・中島代理）（計2名）
- 欠席委員：原副主査（東京理科大学），秋野，野田（東京電力）（計3名）
- オブザーバ：高島（原子力安全・保安院），松野・名倉（内閣府 原子力安全委員会事務局），植田（日本原電），尾崎（関西電力）（計5名）
- 事務局：浅井・堀江・肥後・福原（日本電気協会）（計4名）

4. 配布資料

- 資料 No.3-1 総括検討会委員名簿
- 資料 No.3-2 第2回総括検討会議事録（案）
- 資料 No.3-3 耐震設計分科会各検討会活動状況について

5. 議事

（1）代理出席者の承認及び前回議事録の確認 他

本日の出席者は委員総数21名のうち18名、うち代理出席者2名について、柴田主査より了承された。

資料 No.3-2 に基づき、事務局より前回議事録（案）が紹介され、了承された。

（2）各検討会活動状況報告について

題記について、資料 No.3-3 に基づき、各検討会幹事より報告された。

本件に関する主な意見は以下のとおり。

鋼板コンクリート構造耐震設計技術指針（案）については、現行制定案に加えて新たにサプリメントを作成すべき事項があるのではないかと考えている。詳細を関係者と協議した後に具体的内容を紹介したい。

土木構造物検討会における津波に関する記述について内容の吟味はほぼ終了したとのことだが、技術的に学識者間で意見の分かれる箇所もあるため、基本的な方向性について審査指針検討の動向に十分留意すべき。

建物・構築物検討会において検討しているSC指針案は、第 編 機器支持定着部評

価法について機器・配管系検討会にチェックをお願いしている。次回分科会までに間に合わなければ中間報告として諮る予定。

機器・配管系検討会における JEAG4601 改定作業として、'87年版をベースに耐専審議事項を新たに追加する作業と同時に、仕様基準方式（本文・解説）の記載方法で作業を実施中。今後各検討会との調整が必要。

（３）審査指針の検討状況について

柴田主査より題記についての最近の状況が以下のとおり報告された。

次回耐震指針検討分科会は12月26日開催予定。

指針改定が平成16年6月を目標とすることは、作業量的に見て、今後の課題。

重要度分類を現行から大きく変更するとの議論がある。概念的にはより安全な方向とすべきだが、その程度とあわせて経済的な影響の程度を具体的に議論する必要があると考える。

（４）民間規格の活用動向について

題記について、事務局より、以下2点が紹介された。

発電用原子力設備規格 設計・建設規格（2001）（日本機械学会）の特認による使用を了承すること。

電気事業法の不利益処分の判断基準として、発電用原子力設備規格 維持規格（2002）（日本機械学会） JEAC4209-2003 原子力発電所の保守管理規程の2件が呼び込まれたこと。

（５）今後の予定について

今後の予定として、既定のとおり、次回分科会を1月26日am、次次回分科会を3月30日amに開催予定とし、鋼板コンクリート構造耐震設計技術指針（案）については、1月の分科会審議の後、2月3日開催予定の第13回原子力規格委員会に中間報告する予定となった。

また、分科会次年度活動計画については、3月開催予定の分科会に向けて各検討会で調整することとなった。

（６）その他

次回総括検討会は、議題、時期等について必要な調整を行った上で、改めて日程調整を行う予定。

以 上